

地区別の利用しない理由（全体の平均値からの乖離状況を図示）

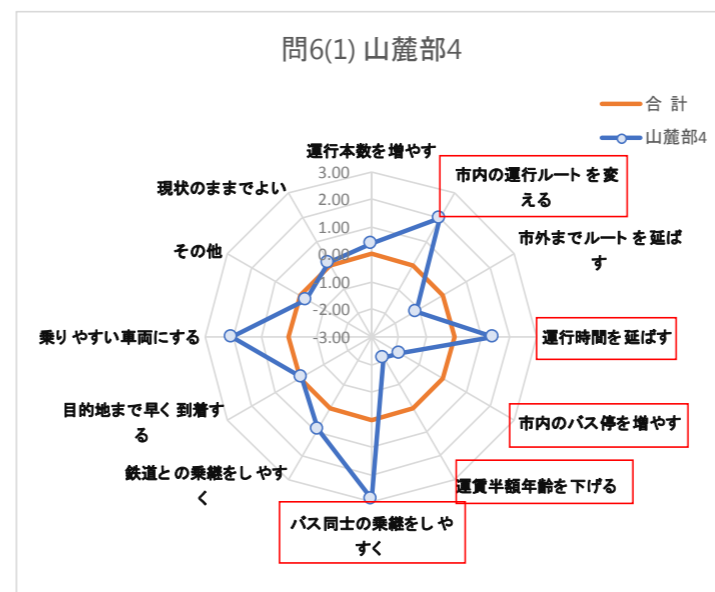
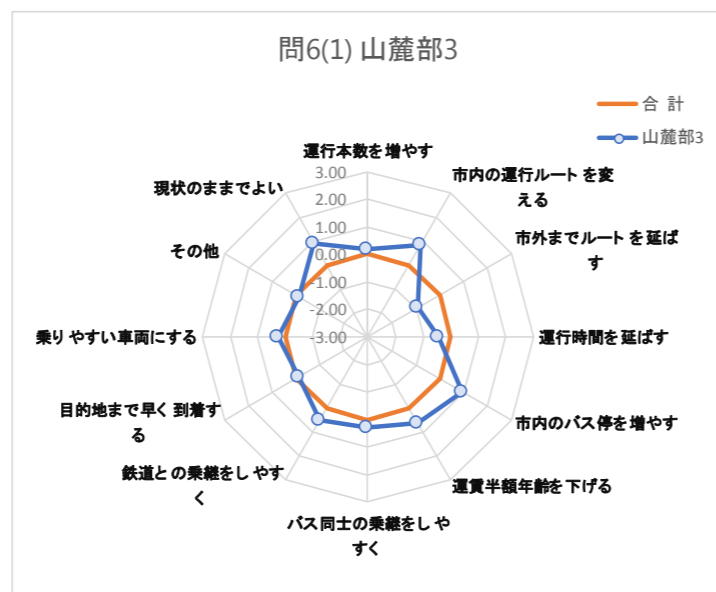
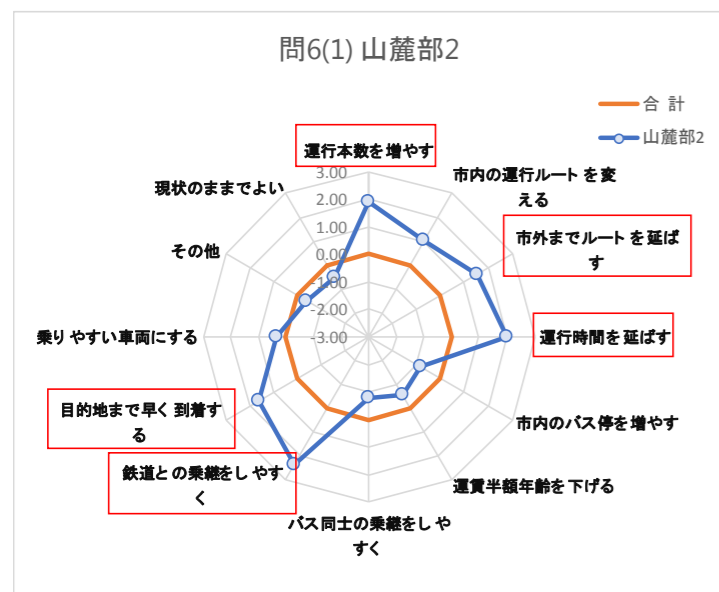
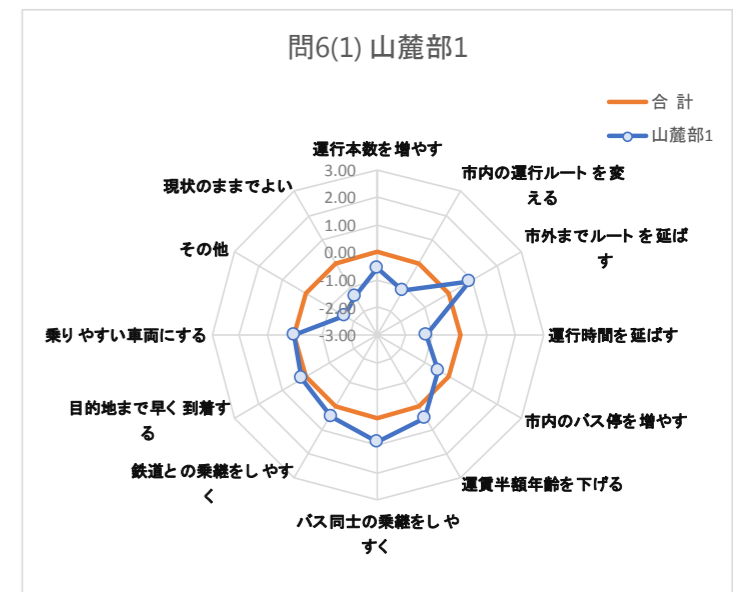
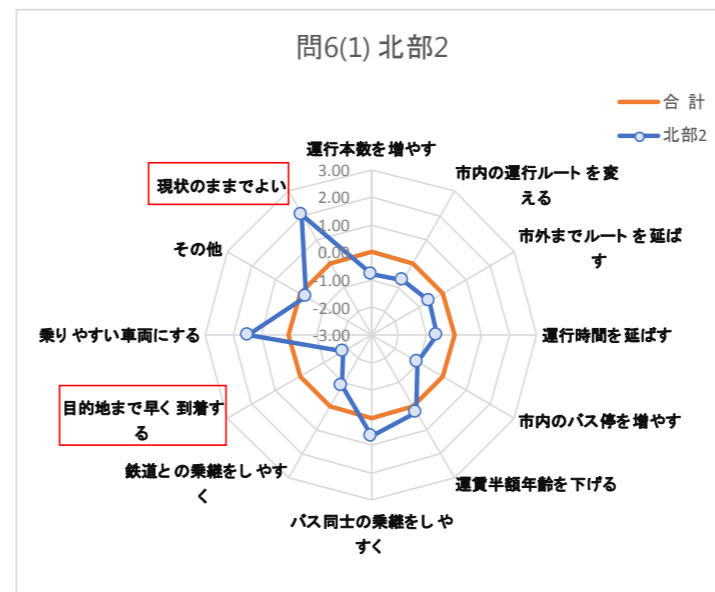
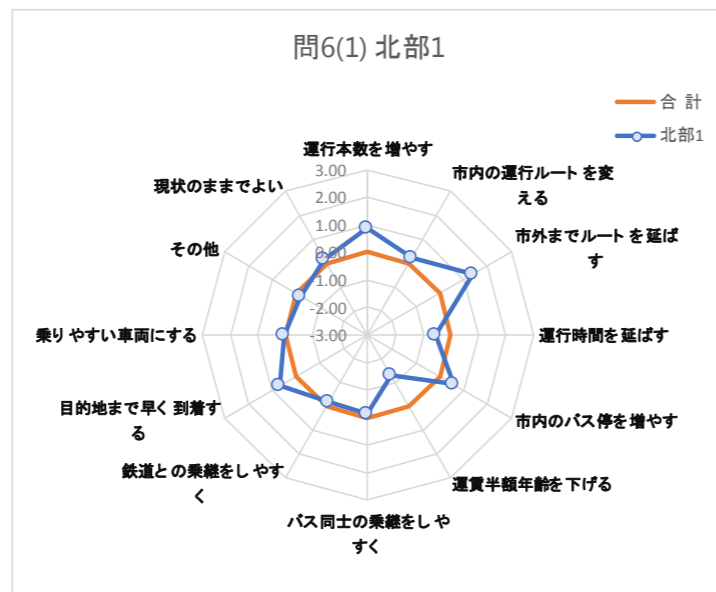
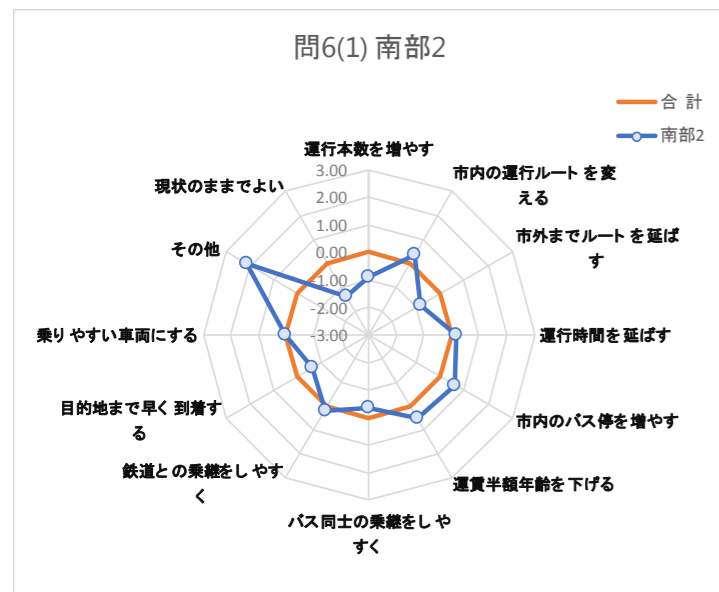
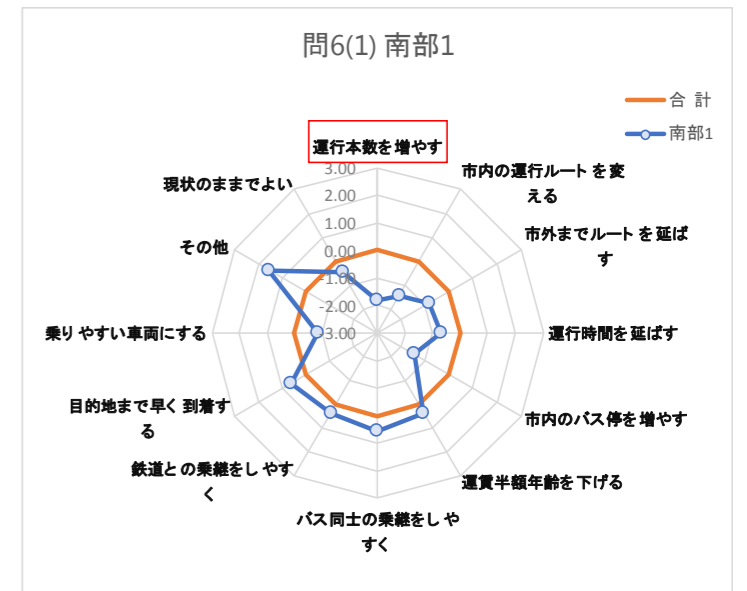
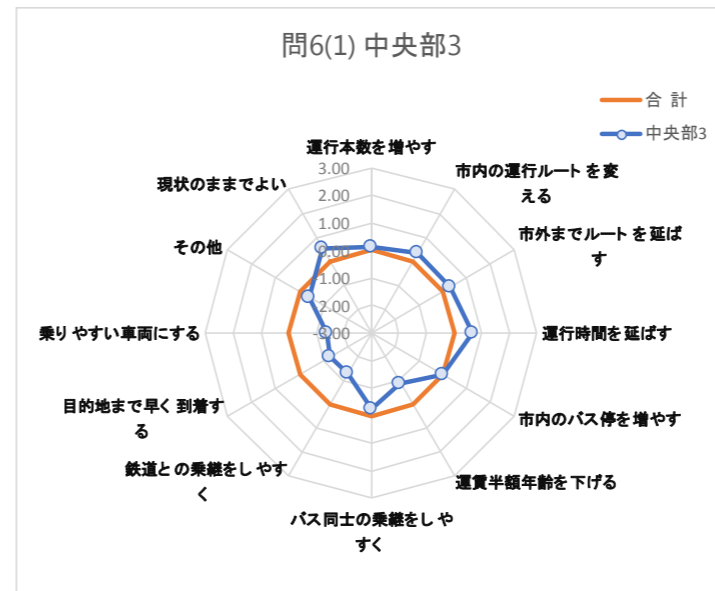
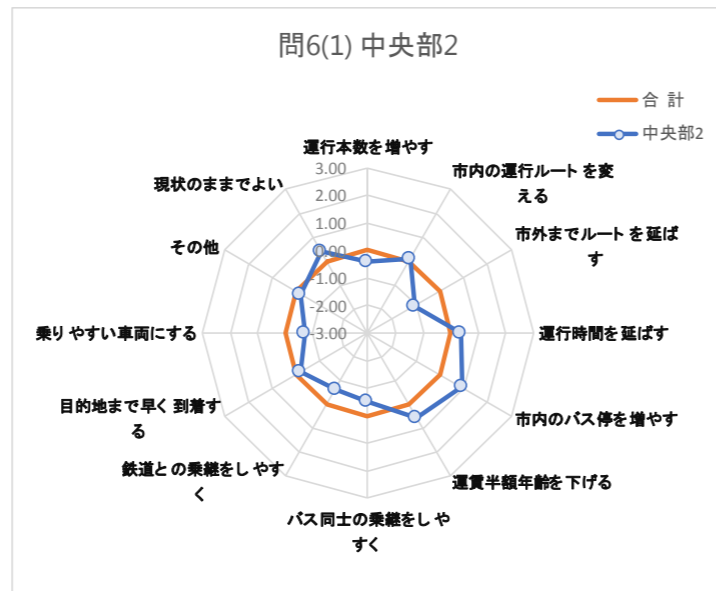
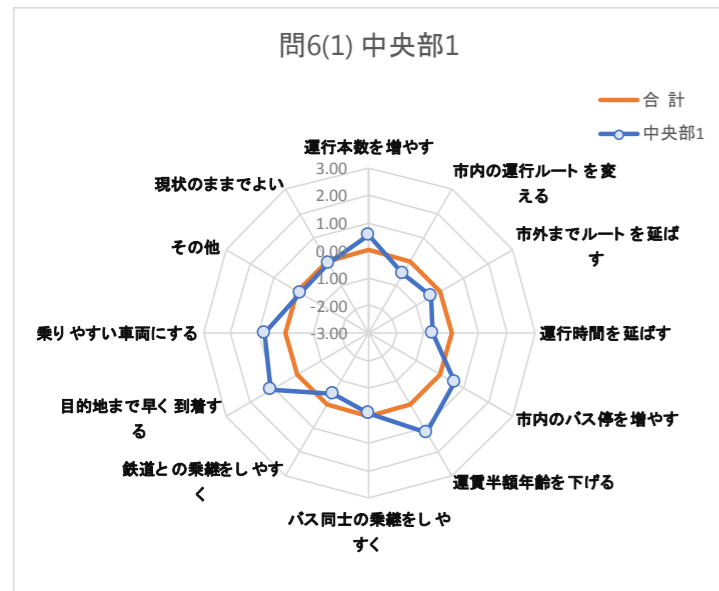
問6 コミュニティバス（れんかちゃんバス、けはや号）のサービス向上の意向

問6(1) コミュニティバスのサービス改善（複数回答）

- ・ 「コミュニティバスのサービス改善が必要と思う項目」の「1番目」を3点、「2番目」を2点、「3番目」を1点として、回答結果を得点化した。
- ・ 「運行本数を増やす」が1436点で最も多く、次いで「市外まで運行ルートを延ばす」が1082点、「目的地まで早く到着する」が895点と続いている。

	1番目	2番目	3番目	合計	
	(点)	(点)	(点)	(点)	
運行本数を増やす	1125	230	81	1436	
市外まで運行ルートを延ばす	657	322	103	1082	
目的地まで早く到着する	477	274	144	895	
市内の運行ルートを変える	393	298	137	828	
鉄道との乗り継ぎをしやすいにする	294	360	172	826	
バス同士の乗り継ぎをしやすいにする	321	370	117	808	
市内のバス停を増やす	390	256	72	718	
現状の運行内容のままでよい	435	18	34	487	
運行時間を延ばす	39	128	96	263	
運賃が半額になる年齢を下げる	42	72	38	152	
乗りやすい車両にする	63	20	28	111	

- ・ 地区別の結果（次ページ）のなかで、平均よりも回答割合がとて高かった項目（または低かった項目）に赤枠をつけた。
- ・ 山麓部4を例にすると、「市内の運行ルートを変える」「運行時間を延ばす」「バス同士の乗継をしやすいにする」が平均より回答割合が高く、この地区の住民が特に重視している項目（サービス改善を望んでいる項目）と考えられる。また、「市内のバス停を増やす」「運賃半額年齢を下げる」は平均より回答割合が低く、あまり重視されていない項目と考えられる。



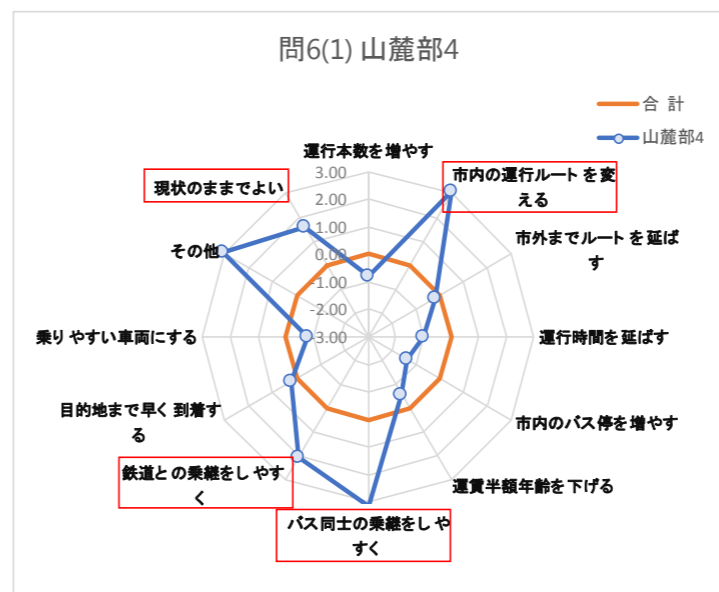
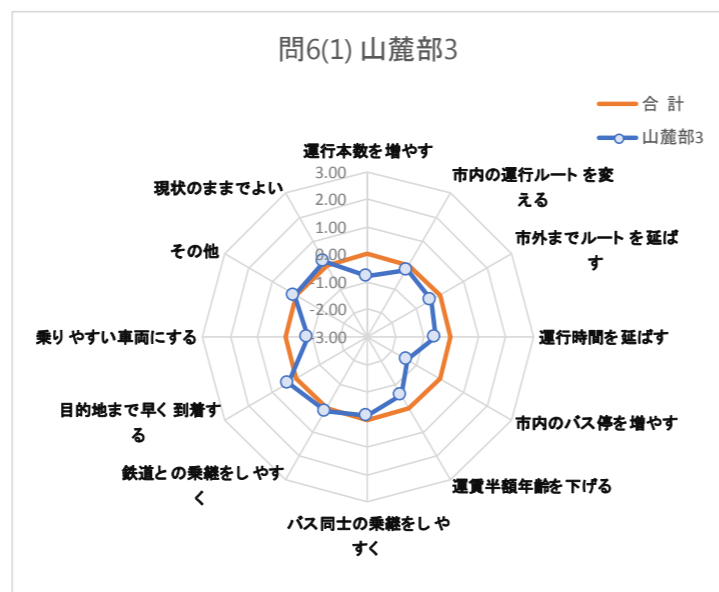
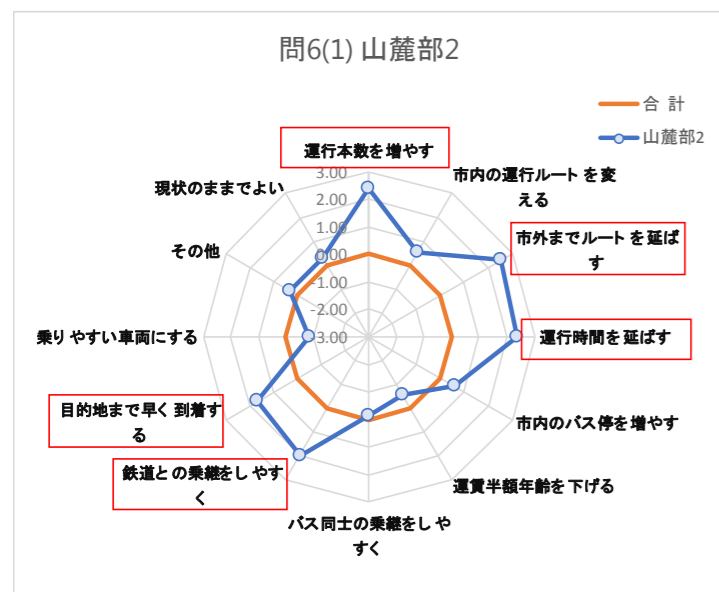
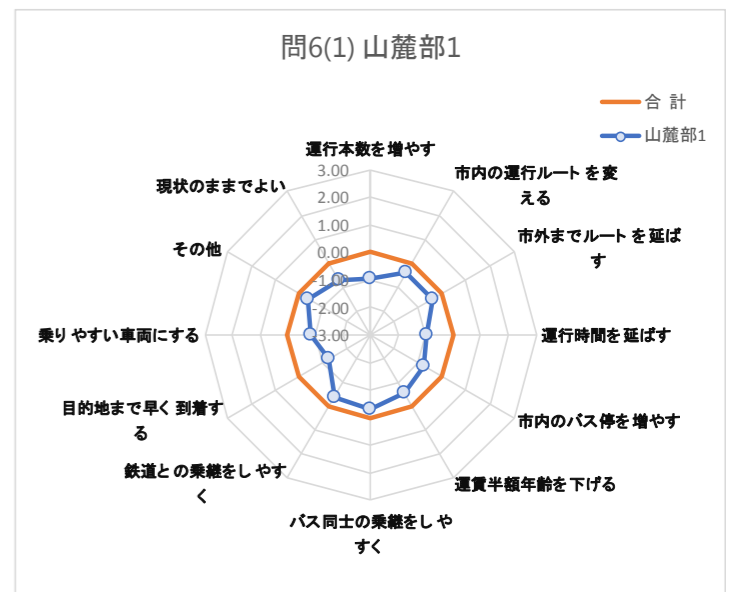
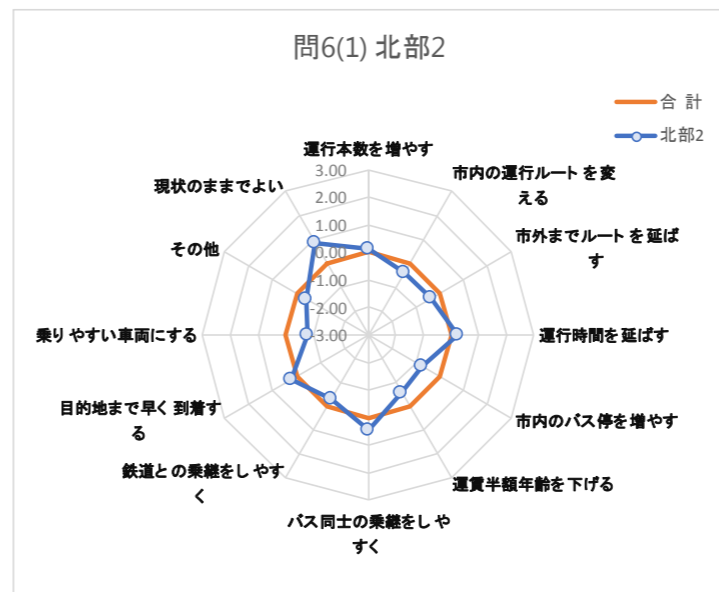
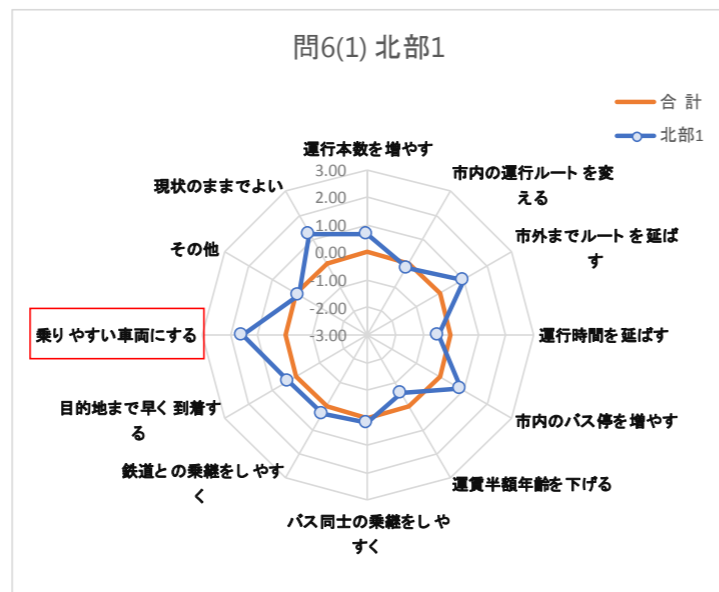
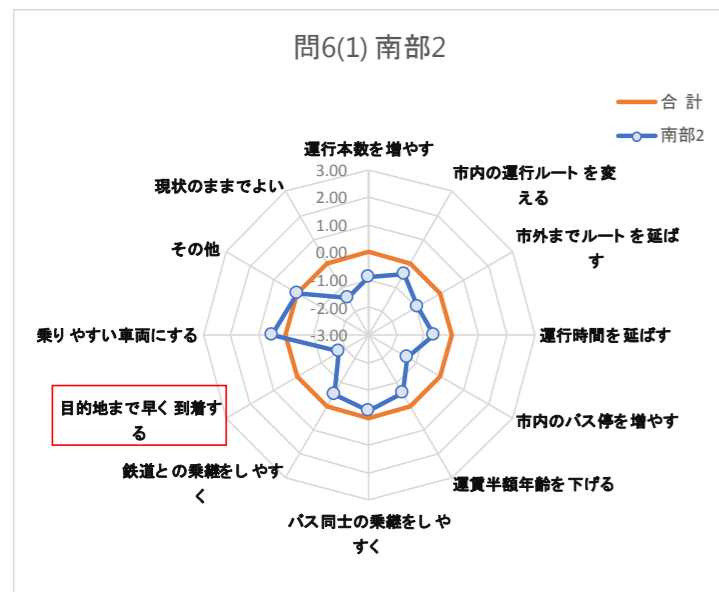
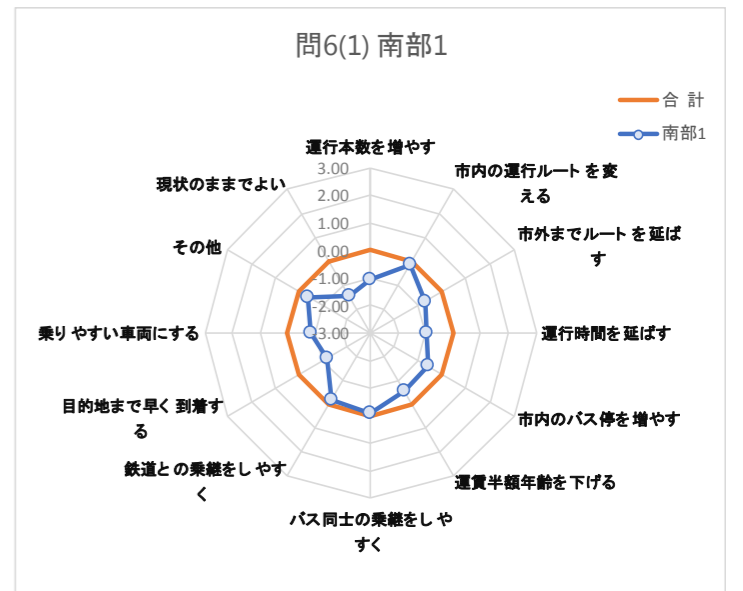
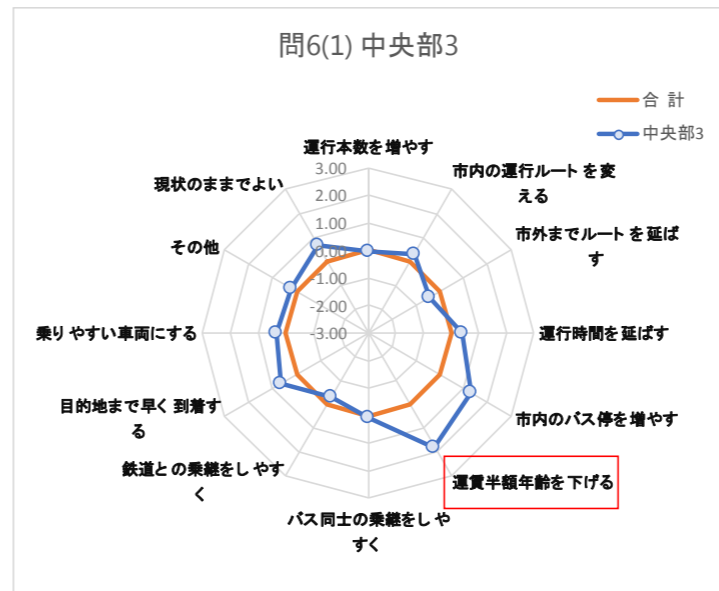
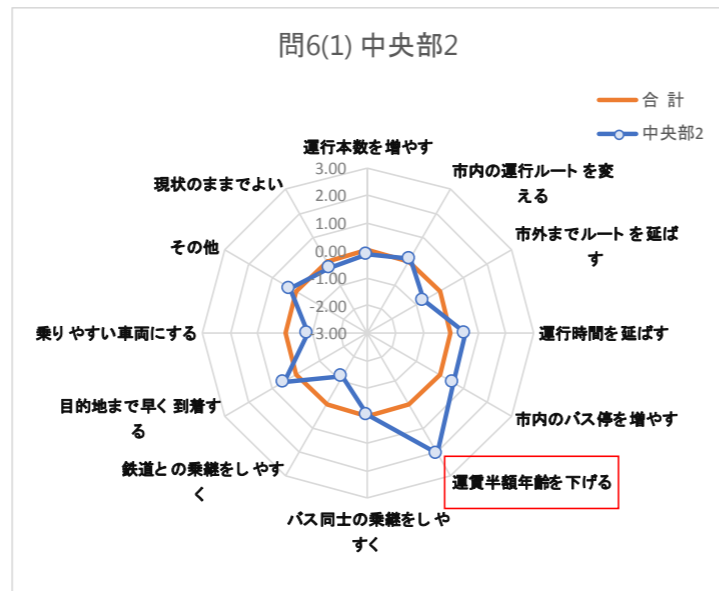
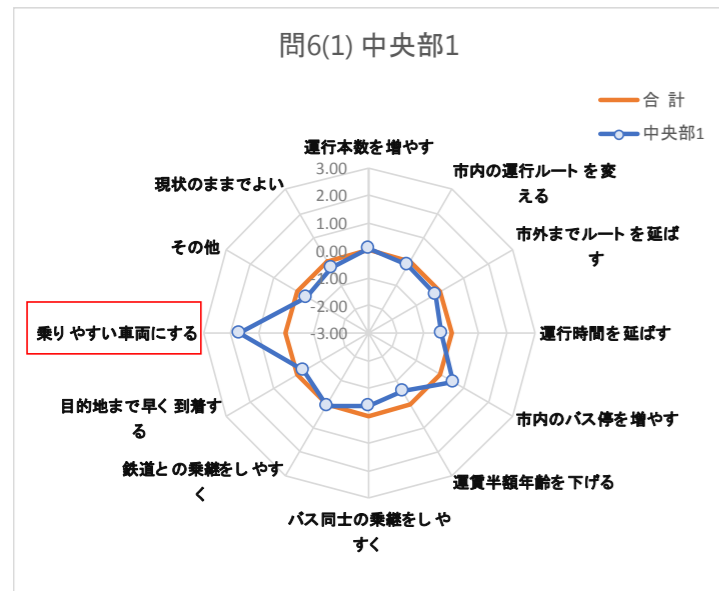
地区別の改善要望（全体の平均値からの乖離状況を図示）

【コミュニティバス利用者のみ】

- ・ 「運行本数を増やす」が301点で最も多く、次いで「市外まで運行ルートを変えす」が131点、「市内の運行ルートを変える」が78点と続いている。

	1番目	2番目	3番目	合計	0 100 200 300 400
	(点)	(点)	(点)	(点)	
運行本数を増やす	261	30	10	301	
市外まで運行ルートを変えす	63	60	8	131	
市内の運行ルートを変える	36	32	10	78	
目的地まで早く到着する	21	32	20	73	
バス同士の乗り継ぎをしやすいにする	24	30	15	69	
現状の運行内容のままでよい	57	2	3	62	
鉄道との乗り継ぎをしやすいにする	9	30	17	56	
運行時間を延ばす	6	28	14	48	
市内のバス停を増やす	15	20	11	46	
乗りやすい車両にする	0	4	4	8	
運賃が半額になる年齢を下げる	0	2	1	3	

- ・ 地区別の結果（次ページ）のなかで、平均よりも回答割合がとても高かった項目（または低かった項目）に赤枠をつけた。
- ・ 山麓部4を例にすると、「市内の運行ルートを変える」「バス同士の乗継をしやすいにする」「鉄道との乗継をしやすいにする」「現状のままでよい」が平均より回答割合が高く、この地区の住民が特に重視している項目（サービス改善を望んでいる項目）と考えられる。



コミュニティバス利用者の地区別の改善要望（全体の平均値からの乖離状況を図示）

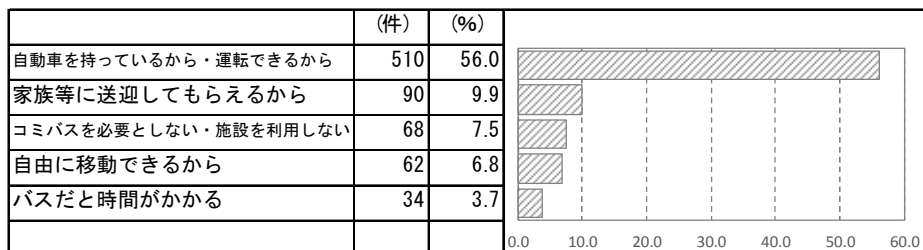
問6(2) サービス改善後に行きたい場所（複数回答）

- ・ 比率の高い項目の上位3位をみると、まず、「高田駅（近鉄・JR）」が92件で6.3%と最も多く、次いで「大和高田市立病院」が79件で5.4%、さらに「ゆうあいステーション」が69件で4.7%と続いている。



問6(4) サービス改善後に利用回数が増えない理由（複数回答）

- ・ 「自動車を持っているから・運転できるから」が510件で56.0%と最も多く、次いで「家族等に送迎してもらえるから」が90件で9.9%、「コミュニティバスを必要としない・施設を利用しない」が68件で7.5%と続いている。

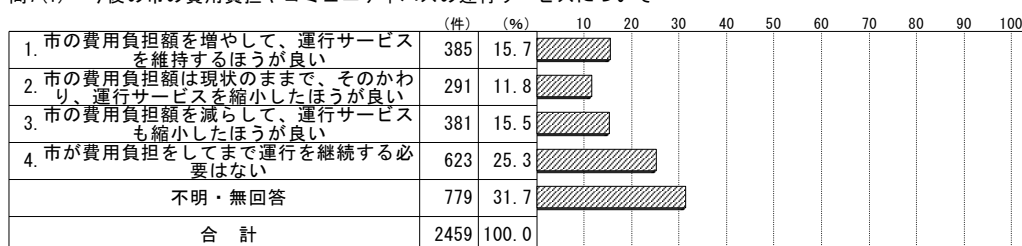


問7 コミュニティバス（れんかちゃんバス、けはや号）の運行の維持について

問7(1) 今後の市の費用負担やコミュニティバスの運行サービス

- 「市が費用負担をしてまで運行を継続する必要はない」が 623 件で 25.3%と最も多く、次いで「市の費用負担額を増やして、運行サービスを維持するほうが良い」が 385 件で 15.7%、さらに「市の費用負担額を減らして、運行サービスも縮小したほうが良い」が 381 件で 15.5%と続いている。「市の費用負担額は現状のまま、そのかわり、運行サービスを縮小したほうが良い」は最も少なく 291 件で 11.8%となっている。

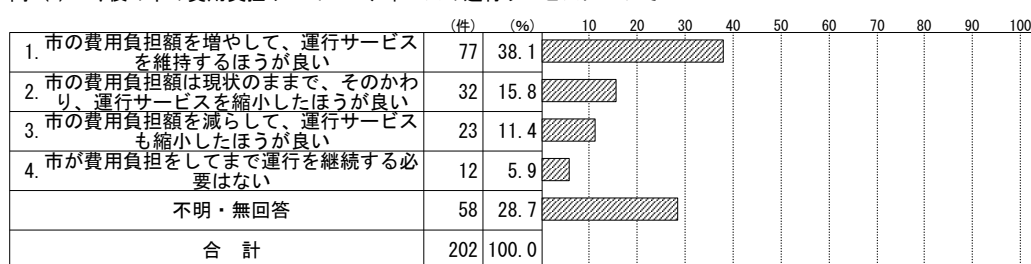
問7(1) 今後の市の費用負担やコミュニティバスの運行サービスについて



【コミュニティバス利用者のみ】

- ただし、コミュニティバス利用者のみで集計すると回答結果の傾向は逆転し、「市の費用負担額を増やして、運行サービスを維持するほうが良い」が最も多く、「市が費用負担をしてまで運行を継続する必要はない」が最も少ない結果となった。

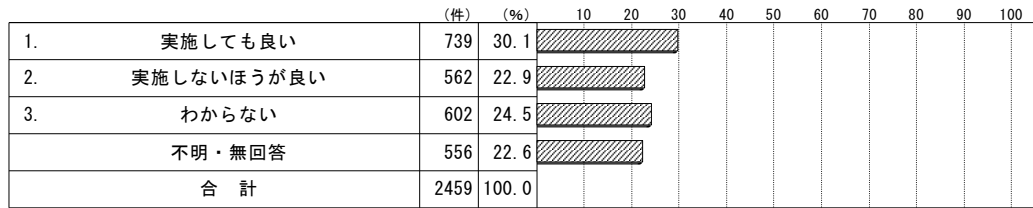
問7(1) 今後の市の費用負担やコミュニティバスの運行サービスについて



問7(2)①予約型乗合バス方式

- ・ 「実施しても良い」が739件で30.1%と最も多く、次いで「わからない」が602件で24.5%、「実施しないほうが良い」が562件で22.9%と続いている。

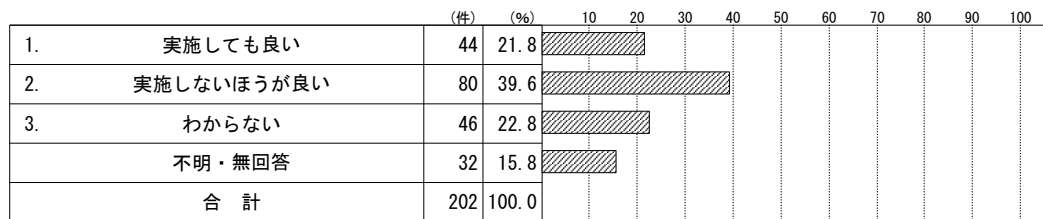
問7(2)① 【見直し案】予約型乗合バス



【コミュニティバス利用者のみ】

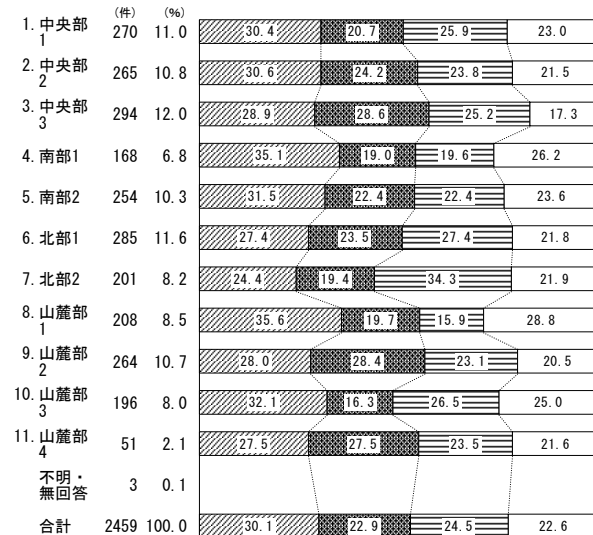
- ・ 上記の回答結果の傾向と異なり、「実施しないほうが良い」が多くなった。
- ・ 「実施」意向が高い地域は、南部1、山麓部1。「実施しない」意向が高い地域は、南部2、山麓部2などである。

問7(2)① 【見直し案】予約型乗合バス



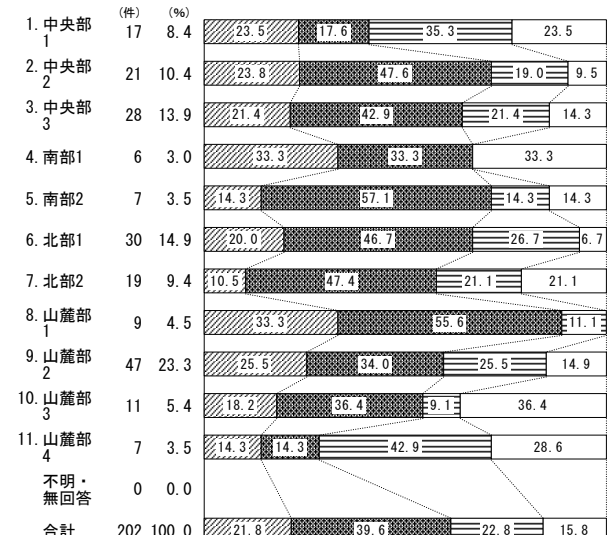
<回答者全員>

追加① 地区分類 × 問7(2)① 【見直し案】予約型乗合バス



<コミュニティバス利用者のみ>

追加① 地区分類 × 問7(2)① 【見直し案】予約型乗合バス

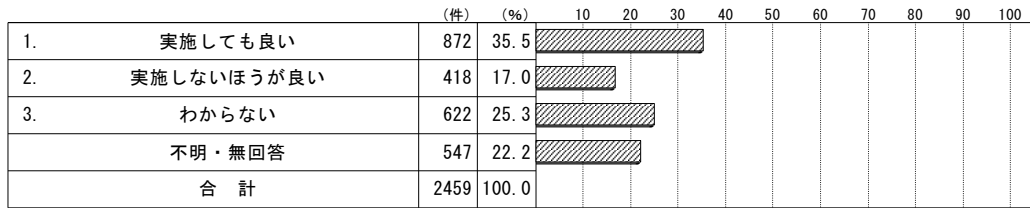


実施しても良い
 実施しないほうが良い
 わからない
 不明・無回答

問7(2)②朝6～8時台の運行中止

- ・ 「実施しても良い」が872件で35.5%と最も多く、次いで「わからない」が622件で25.3%、「実施しないほうが良い」が418件で17.0%と続いている。

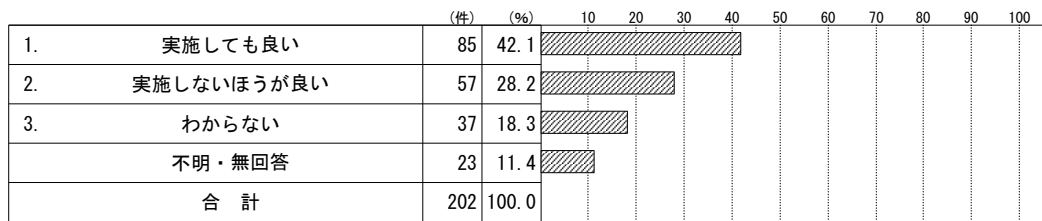
問7(2)② 【見直し案】朝6～8時台の運行が無くなる



【コミュニティバス利用者のみ】

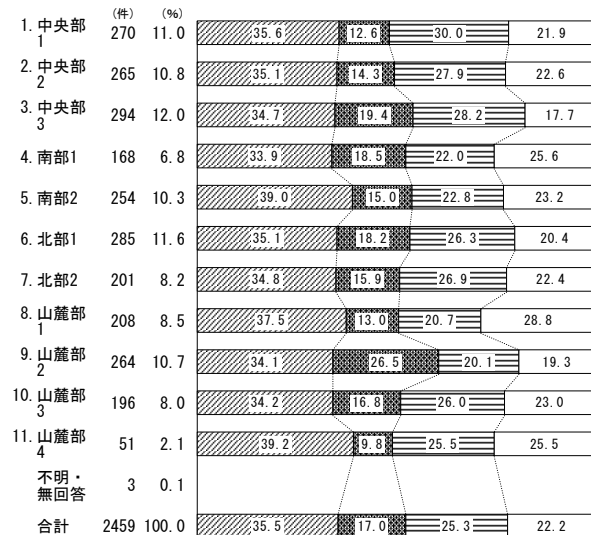
- ・ 上記の回答結果の傾向と同じであり、「実施しても良い」が多くなった。
- ・ 「実施」意向が高い地域は、南部1、北部1。「実施しない」意向が高い地域は、山麓部1などである。

問7(2)② 【見直し案】朝6～8時台の運行が無くなる



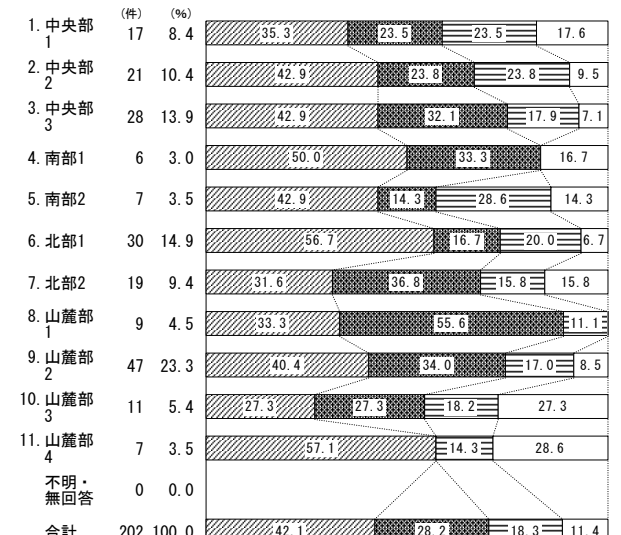
<回答者全員>

追加① 地区分類 × 問7(2)② 【見直し案】朝6～8時台の運行が無くなる



<コミュニティバス利用者のみ>

追加① 地区分類 × 問7(2)② 【見直し案】朝6～8時台の運行が無くなる

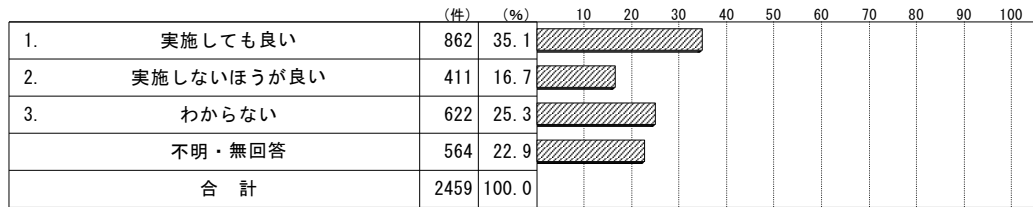


実施しても良い
 実施しないほうが良い
 わからない
 不明・無回答

問7(2)③16時以降の運行中止

- ・ 「実施しても良い」が862件で35.1%と最も多く、次いで「わからない」が622件で25.3%、「実施しないほうが良い」が411件で16.7%と続いている。

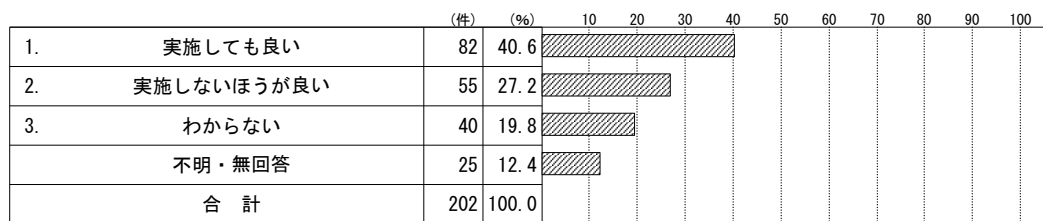
問7(2)③ 【見直し案】16時以降の運行が無くなる



【コミュニティバス利用者のみ】

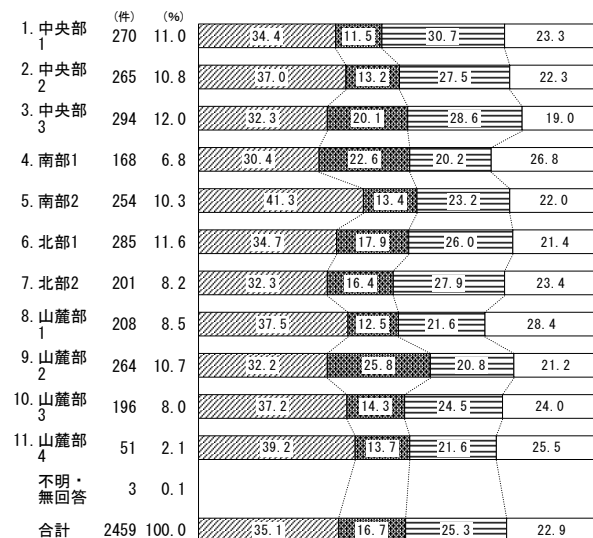
- ・ 上記の回答結果の傾向と同じであり、「実施しても良い」が多くなった。
- ・ 「実施」意向が高い地域は、南部2、北部1。「実施しない」意向が高い地域は、南部1、山麓部1などである。

問7(2)③ 【見直し案】16時以降の運行が無くなる



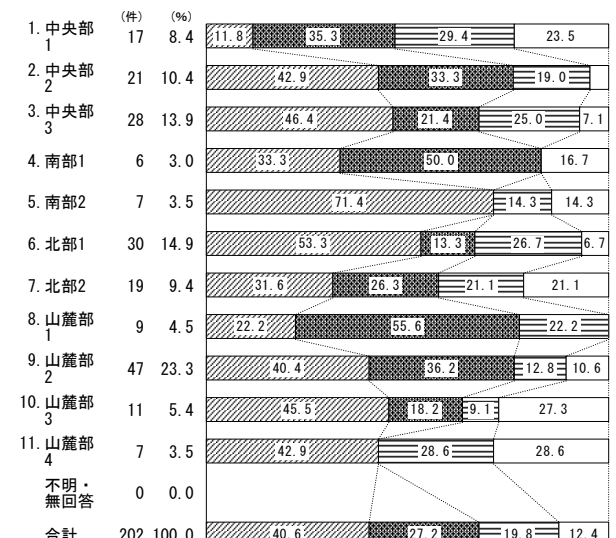
<回答者全員>

追加① 地区分類 × 問7(2)③ 【見直し案】16時以降の運行が無くなる



<コミュニティバス利用者のみ>

追加① 地区分類 × 問7(2)③ 【見直し案】16時以降の運行が無くなる

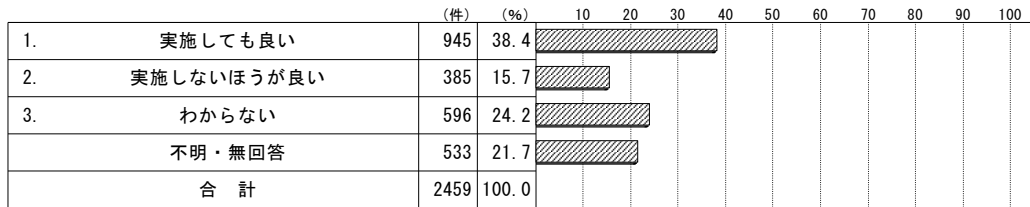


実施しても良い
 実施しないほうが良い
 わからない
 不明・無回答

問7(2)④運行中止+タクシーなどでの代替

- ・ 「実施しても良い」が945件で38.4%と最も多く、次いで「わからない」が596件で24.2%、「実施しないほうが良い」が385件で15.7%と続いている。

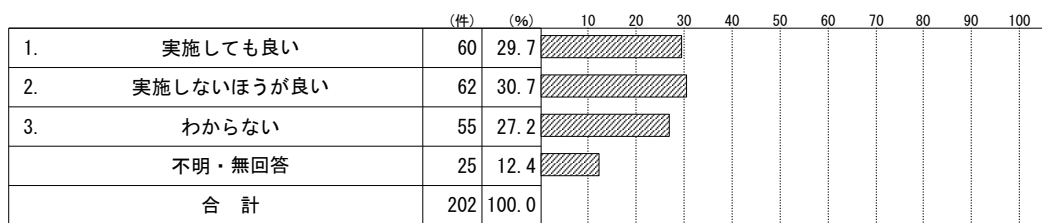
問7(2)④ 【見直し案】けはや号の運行が中止



【コミュニティバス利用者のみ】

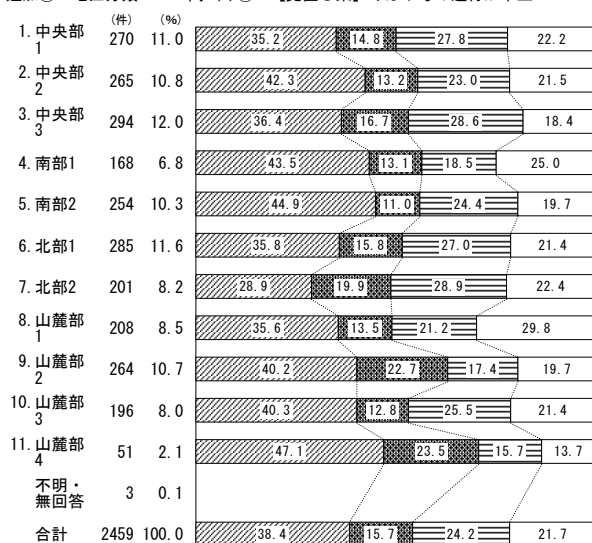
- ・ 上記の回答結果の傾向と異なり、「実施しても良い」と「実施しないほうが良い」がほぼ同率となった。
- ・ 「実施」意向が高い地域は、南部1、南部2。「実施しない」意向が高い地域は、山麓部1などである。

問7(2)④ 【見直し案】けはや号の運行が中止



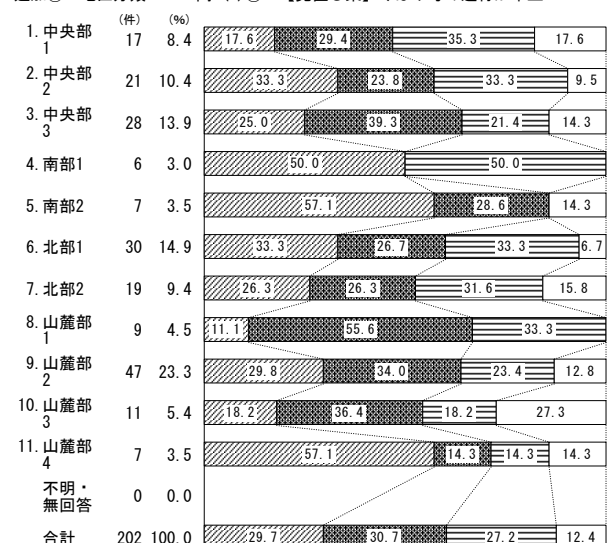
<回答者全員>

追加① 地区分類 × 問7(2)④ 【見直し案】けはや号の運行が中止



<コミュニティバス利用者のみ>

追加① 地区分類 × 問7(2)④ 【見直し案】けはや号の運行が中止

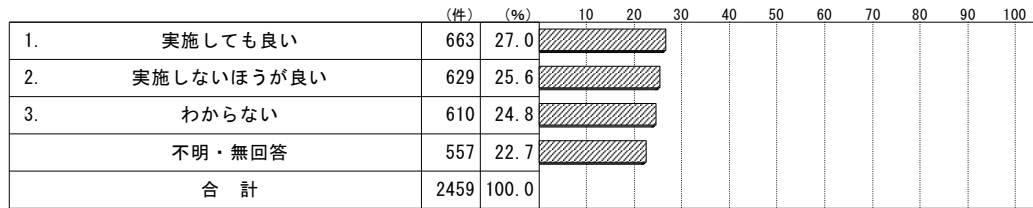


実施しても良い
 実施しないほうが良い
 わからない
 不明・無回答

問7(2)⑤バス停廃止

- ・ 「実施しても良い」が663件で27.0%と最も多く、次いで「実施しないほうが良い」が629件で25.6%、「わからない」が610件で24.8%と続いている。

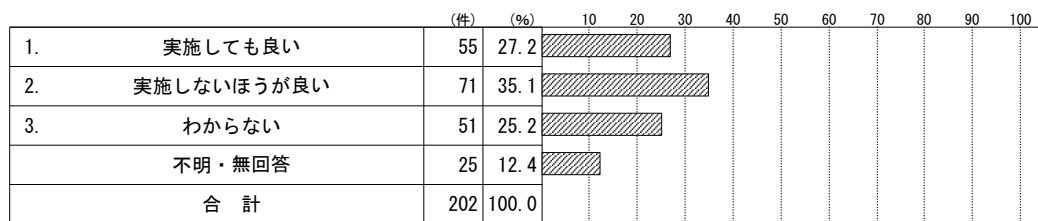
問7(2)⑤ 【見直し案】利用者の少ないバス停は廃止



【コミュニティバス利用者のみ】

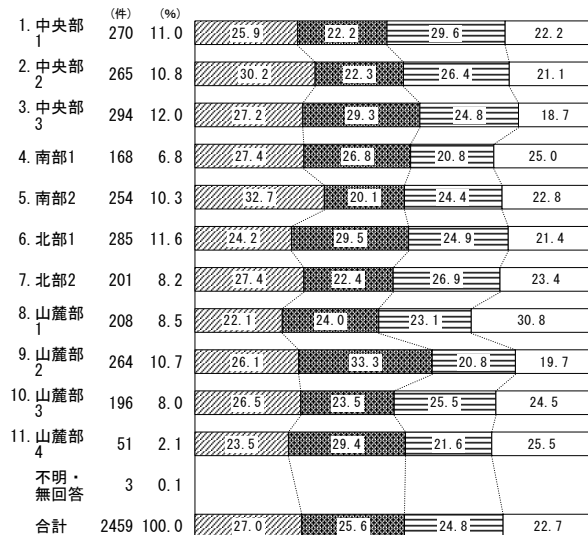
- ・ 上記の回答結果の傾向と異なり、「実施しないほうが良い」が多くなった。
- ・ 「実施」意向が高い地域は、中央部3、南部2。「実施しない」意向が高い地域は、南部1、山麓部1などである。

問7(2)⑤ 【見直し案】利用者の少ないバス停は廃止



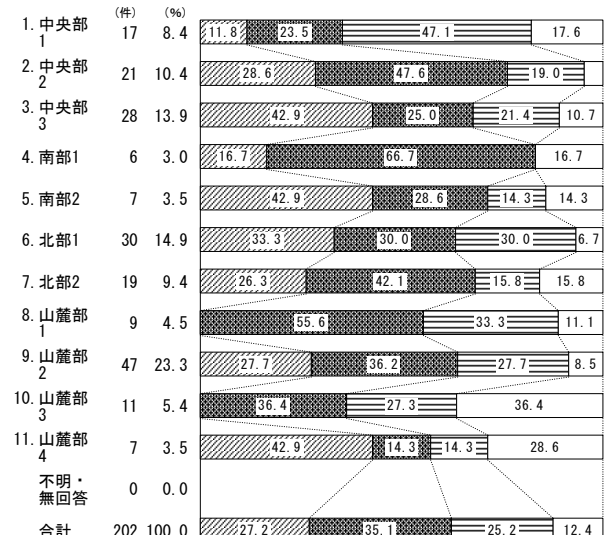
<回答者全員>

追加① 地区分類 × 問7(2)⑤ 【見直し案】利用者の少ないバス停は廃止



<コミュニティバス利用者のみ>

追加① 地区分類 × 問7(2)⑤ 【見直し案】利用者の少ないバス停は廃止

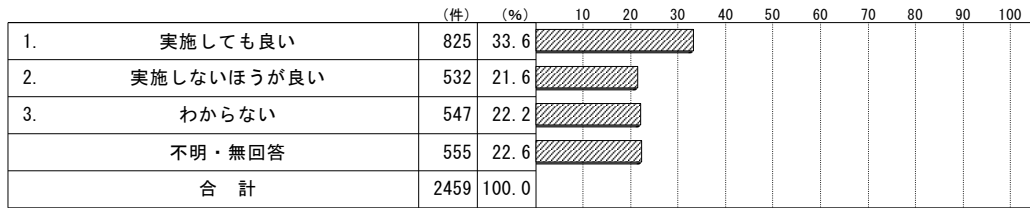


実施しても良い
 実施しないほうが良い
 わからない
 不明・無回答

問7(2)⑥運賃値上げ

- ・ 「実施しても良い」が825件で33.6%と最も多く、次いで「わからない」が547件で22.2%、「実施しないほうが良い」が532件で21.6%と続いている。

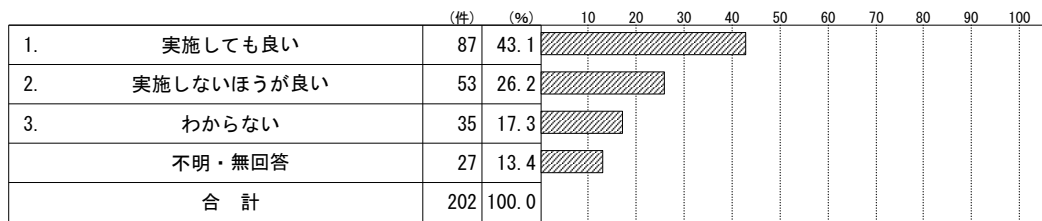
問7(2)⑥ 【見直し案】運賃の値上げ



【コミュニティバス利用者のみ】

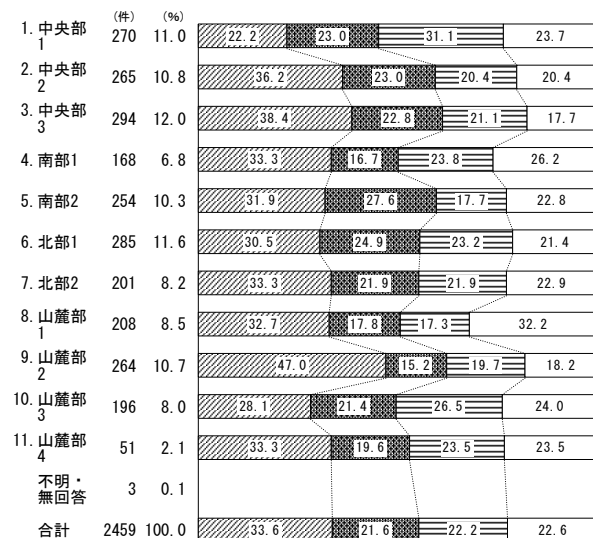
- ・ 上記の回答結果の傾向と同じであり、「実施しても良い」が多くなった。
- ・ 「実施」意向が高い地域は、中央部2、中央部3。「実施しない」意向が高い地域は、南部2、山麓部1などである。

問7(2)⑥ 【見直し案】運賃の値上げ



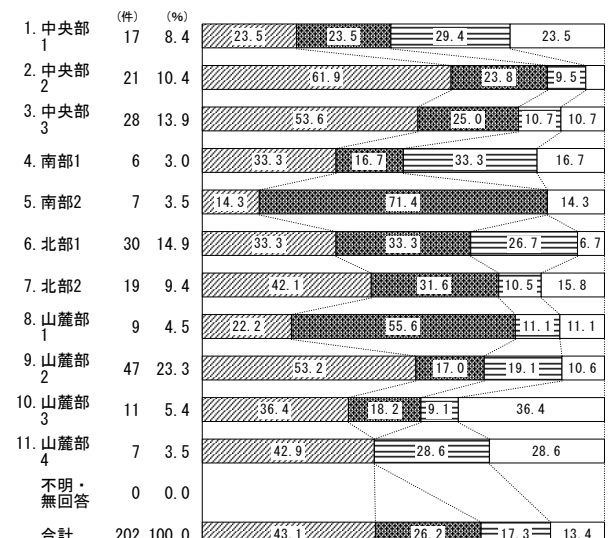
<回答者全員>

追加① 地区分類 × 問7(2)⑥ 【見直し案】運賃の値上げ



<コミュニティバス利用者のみ>

追加① 地区分類 × 問7(2)⑥ 【見直し案】運賃の値上げ



実施しても良い
 実施しないほうが良い
 わからない
 不明・無回答

【問7（2）①～⑥のまとめ表】

- ・ 見直し案の①～⑥について、「実施しても良い」という回答割合についてまとめた表を以下に示す（全回答者の結果）。
- ・ 施策の実施意向が高い地域は、南部2や山麓部1、山麓部4である。また、予約型乗合バス方式への意向については、山麓部1、南部1、山麓部3で意向が高い結果となった。

		①予約型乗合バス方式	②朝の便の運行中止	③夕方の便の運行中止	④運行中止+タクシー等で代替	⑤バス廃止	⑥運賃値上げ	
合計	主なミニバスルート	実施可の割合	30.1	35.5	35.1	38.4	27.0	33.6
中央部1	E. 笛堂・萱	実施可の割合	30.4	35.6	34.4	35.2	25.9	22.2
		ランク	6番目	4番目	7番目	10番目	8番目	11番目
中央部2	D. 寺口	実施可の割合	30.6	35.1	37.0	42.3	30.2	36.2
		ランク	5番目	5番目	5番目	4番目	2番目	3番目
中央部3	B. 長尾・疋田	実施可の割合	28.9	34.7	32.3	36.4	27.2	38.4
		ランク	7番目	8番目	9番目	7番目	5番目	2番目
南部1	E. 笛堂・萱	実施可の割合	35.1	33.9	30.4	43.5	27.4	33.3
		ランク	2番目	11番目	11番目	3番目	3番目	4番目
南部2	E. 笛堂・萱、 F. 笛吹・梅室	実施可の割合	31.5	39.0	41.3	44.9	32.7	31.9
		ランク	4番目	2番目	1番目	2番目	1番目	8番目
北部1	B. 長尾・疋田	実施可の割合	27.4	35.1	34.7	35.8	24.2	30.5
		ランク	10番目	6番目	6番目	8番目	9番目	9番目
北部2	A. 當麻、B. 長尾・疋田、 C. 兵家・中戸	実施可の割合	24.4	34.8	32.3	28.9	27.4	33.3
		ランク	11番目	7番目	8番目	11番目	4番目	4番目
山麓部1	A. 當麻	実施可の割合	35.6	37.5	37.5	35.6	22.1	32.7
		ランク	1番目	3番目	3番目	9番目	11番目	7番目
山麓部2	B. 長尾・疋田、 C. 兵家・中戸	実施可の割合	28.0	34.1	32.2	40.2	26.1	47.0
		ランク	8番目	10番目	10番目	6番目	7番目	1番目
山麓部3	C. 兵家・中戸、 D. 寺口	実施可の割合	32.1	34.2	37.2	40.3	26.5	28.1
		ランク	3番目	9番目	4番目	5番目	6番目	10番目
山麓部4	F. 笛吹・梅室	実施可の割合	27.5	39.2	39.2	47.1	23.5	33.3
		ランク	9番目	1番目	2番目	1番目	10番目	4番目

3. まとめ

・外出行動は、旧當麻町と旧新庄町とで行き先が異なる。旧當麻町は、ゆうあいステーション、尺土周辺の店舗、大和高田市立病院が多い。旧新庄町は、いきいきセンター、北花内～忍海周辺の店舗、中央部1や2の病院が多い。

市内を分断することになるが、外出範囲は旧町単位で検討することが望ましい。

・交通手段は、ゆうあいステーションへのバス利用は1割程度あるが、それ以外の移動（買い物や通院等）では2%程度であり、日常生活の移動としてバスはあまり活用されていない状況にある。

・その中で、葛城市コミュニティバスの利用状況を見ると、利用頻度が高い方は（週に1回以上）、市の中心周辺にお住まいの方が多く、利用目的は通院や買い物が多い。

・また、葛城市コミュニティバスを利用しない理由は、自動車関連の理由が多くを占めている（自動車を持っている、自動車で送迎してもらえる）。また、一部の自由意見の結果ではあるが、コミュニティバスはゆうあいステーションやいきいきセンターなどの福祉施設利用のための交通手段と考えている方が多いため、コミュニティバスの使い方について啓発する必要がある。

・葛城市コミュニティバスの今後については、コミュニティバス利用者は、やはり、市の費用負担を増やして運行維持を希望しているが、回答者全体の意見としては、市が費用負担してまで運行維持をする必要がない、という意見が多くを占める結果となった。また、予約型乗合バス方式などへの見直し案については、3割以上の賛成が得られた。